



2016年12月1日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 木本 茂
 コード番号 8233
 連絡先 広報・IR室長 園田 早苗
 (大阪) 06-6631-1101
 (東京) 03-3211-4111

2016年11月度 高島屋店頭売上速報

百貨店概況 (前年比 単位:%)

(株)高島屋単体 13店舗	+1.5
(株)高島屋単体 および国内百貨店子会社 17店舗	+1.3

※国内百貨店子会社は、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋の4店舗です。

○11月度の店頭売上は、休日の前年比△1日減に加え、関東地方の降雪影響などがあったものの、営業施策の奏効や気温の低下に伴う防寒アイテムなどの好調により、4ヵ月ぶりに前年実績を上回りました。

○免税販売額は、化粧品等が好調に推移し、前年比+9.2%となりました。

店舗別売上高概況(前年比 単位:%)

関西地区

高島屋単体 5店舗	子会社 含む8店舗	大阪店		京都店		泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
		単独		単独					
+2.2	+1.4	+3.7	+2.9	+1.3	+1.6	△0.2	△2.6	△3.1	△4.3

※大阪店の売上高は堺店を、京都店の売上高は洛西店を含みます。
 ※岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

関東地区

高島屋単体 8店舗	子会社 含む9店舗	日本橋店	横浜店		新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
			単独							
+1.0	+1.1	+1.3	+0.7	△0.1	+0.3	+2.4	△3.7	△1.1	+7.7	+3.9

※横浜店の売上高は港南台店と「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン 海老名店」を含みます。
 ※柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」を含みます。

○商品別売上は、気温の低下に伴い、コートやマフラーなどの防寒アイテムが好調に推移したものの、紳士服・(当社分類による17店舗ベース以下同じ)・紳士雑貨・婦人服が前年実績を下回ったほか、宝飾品・子供服ホビーなどが前年比マイナスとなりました。一方、インバウンド需要などにより、化粧品を中心に好調に推移した婦人雑貨のほか、特選衣料雑貨・食料品が前年比プラスとなりました。

○店舗別売上は、大型店では大阪店・京都店・日本橋店・横浜店・新宿店の全てで前年実績を上回りました。
 地方郊外店では、玉川店・柏店・高崎店が前年比プラスとなりました。

○関西地区8店舗で前年比+1.4%、関東地区9店舗で同+1.1%となり、17店舗合計で同+1.3%となりました。